

郷土を代表する偉人で稀代の政治家 「田沼意次侯」の銅像が完成

田沼意次侯生誕300年記念事業実行委員会が主体となり、建立を進めてきた、全国初となる田沼意次侯の銅像が完成し、5月に除幕式が挙行されました。
今後は、銅像と史料館を拠点に、偉人の顕彰と歴史文化の発信を積極的に進めていきます。

問い合わせ 社会教育課 石川隆太 ☎(53)2646



コロナ禍においても、市内外の皆さんから募金による多くの支援をいただき、史料館前（相良城本丸跡）に、全国初となる「田沼意次侯」の銅像が完成しました。
5月29日には、関係者による除幕式が行われ、りりしい姿がお披露目されました。
この銅像は、コンピューターグラフィックや3Dプリンターを活用し、細部まで精巧に作られています。

建立事業概要

【募金総額（5月24日時点）】	865万259円
【寄付者】	370件
【製作者】	有限会社自由廊
【台座寄贈】	株式会社牧之原石材
【銘板揮毫】	吉永益美



銅像のモデルとなった田沼意次侯の肖像画（市史料館所蔵）

「田沼再興の聖地」から発信

銅像の建立にあたりましては、コロナ禍においても多くの方々にご寄付をいただきました。大変ありがとうございました。

田沼意次侯は、相良藩主として牧之原市の礎を築いた名君であり、江戸幕府の老中として数々の改革を推し進めた稀代の政治家です。

一方「賄賂政治家」としてのレッテルを貼られ、その代名詞として扱われることが多く、長い不遇の時代がありました。

近年、優れた先見性と創造性、政治手腕が再評価され、功績が見直されています。意次侯ゆかりの地に住む我々は、意次侯が地域や国の発展に尽くされた功績を後世に語り継ぎ、「田沼再興の聖地」として全国に発信するため、ここに銅像を建立しました。

意次侯の功績と遺志が次代に継承され、より一層の顕彰気運と市民の誇りが醸成されますことを祈ります。



河野研司実行委員長

意次侯の「改革の精神」を継承

田沼意次侯は、相良藩主を務められる傍ら、江戸幕府の老中として国政でも手腕を発揮され、幾多の功績を残した大政治家でした。晩年は、大規模な自然災害の続発と反田沼派の攻勢により「改革」の志半ばにして失脚し、無念のうちに亡くなりました。この意次侯の「改革の精神」こそ、今を生きる我々が継承し、地域の発展に努めなければなりません。このコロナ禍において、経済情勢や社会環境が大きく変わる中、多くのご支援をいただき、銅像の建立が実現できたことは、大変意義深いものと感じております。除幕を機に、私も心を新たに、自分を全うするよう努力してまいります。また、銅像の建立が諸先輩方からの長年の悲願である、大河ドラマ誘致の運動につながるかと考えます。

意次侯の功績が世に広まり、後世に語り継がれるとともに、顕彰を通じて地域が活性化することを祈念します。



杉本基久雄市長

銅像建立のため、その分野において多大なご支援をいただいた皆さんに対し、市民を代表して、田沼意次侯生誕300年記念事業実行委員会の河野研司委員長から感謝状を贈呈しました。

感謝状を贈呈した皆さん（敬称略）

- 【銅像製作】 有限会社自由廊（東京都）
- 【台座寄贈】 株式会社牧之原石材（細江）
- 【大口寄付】 大豊株式会社（片浜）
- 【服飾監修】 田中潤（学習院大学）
- 【題書揮毫】 吉永益美（書家）
- 【事業協力】 勝林寺（東京都）



台座を寄贈いただいた牧之原石材の影山晃代表取締役（左）

*（左）自由廊、田中潤さん、勝林寺の皆さんは、新型コロナウイルス感染症防止対策の緊急事態宣言が延長されたことに伴い、除幕式への出席を見合わせました。後日、しっかりと感謝の気持ちを伝えることにしています。

講師に井沢元彦氏をお迎えし、5月29日に開催予定だった「銅像除幕記念講演」は、新型コロナウイルスの緊急事態宣言の延長に伴い延期となりましたが、9月20日祝日に開催することになりました。

申込方法などについては、決まり次第、市ホームページや市LINE公式アカウント、班組回覧でお知らせします。